

ブイゲットフェルテラチ エスL粒剤

[クロラントラニリプロール・ピメトロジン・チアジニル粒剤]

農林水産省登録	第23302号
有効成分	クロラントラニリプロール… 0.75% ピメトロジン…3.0% チアジニル…6.0%
性状	類白色細粒

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：- 有効年限：4年 包装：1kg×12(紙パック) RACコード：殺虫[28][9B]殺菌[P3]

特長

- 育苗箱処理により、いもち病、白葉枯病、水稻主要害虫などを同時防除できる。
- ブイゲットは稲をいもち病、細菌病にかかり難くする作用性（病害防除機能の増強）を有しており、耐性菌出現リスクが低く、既存剤に耐性のいもち病にも有効で、安定した効果が長期間持続する。また、白葉枯病等の細菌性病害にも有効である。
- フェルテラは、コブノメイガ、フタオビコヤガなどのチョウ目害虫に対して高い効果、優れた効果持続性を発揮する。
- チェスは、ウンカ類に対して高い効果、優れた効果持続性を示す。また、既存剤に対して抵抗性を示すウンカ類に対しても高い防除効果を発揮する。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植する。
- 稲の葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落としてから薬剤を散布する。
- 軟弱徒長苗、ムレ苗又は苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 本剤処理後の苗を急激な乾燥が起こりやすい場所や温度変化が大きい場所で育苗した場合、薬害が生じるおそれがあるので、注意する。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じるおそれがあるので、代かきは丁寧に行い、移植後に田面が露出しないよう注意する。
- 本剤の処理により育苗期間中に黄化症状が認められることがあるが、移植後回復するので通常の管理を行う。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。

- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数	ピメトロジンを含む農薬の総使用回数	チアジニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ ニカメイチュウ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	緑化期 ～移植当日	1回	本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する	1回	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)
	イネツトムシ		移植3日前～ 移植当日					
	内穎褐変病		移植当日					

製品写真



最新の登録内容はこちら

